

こぶし

経営方針

利用者の人権の尊重を基本に、利用者が安心・安全に生活できるよう施設サービスの質の向上に努めるとともに、社会の一員として地域と関わりを持ちながら日常生活や社会生活において本人の意思が反映された生活が送れるよう支援します。

多様な障がい特性の理解を深め、支援の専門性の向上を図るとともに、幅広いニーズに応じたサービスの提供とセーフティネットとしての役割を果たしていきます。

また、コンプライアンスを遵守し、信頼される組織体制の構築に努めると共に、自律した施設経営に向けた取り組みを進めていきます。

■ こぶし

[障害者支援施設（施設入所支援、生活介護、短期入所）、日中一時支援事業]

取り巻く環境

地域生活への移行を希望する方や高齢化による身体機能の低下、精神障がいや発達障がい等、利用者の状況は多様化しており、専門的知識や技術の習得によって職員の支援スキルの向上を図り、適切なサービスを提供する必要があります。

特別支援学校や精神科病棟、地域生活を送られてきた方などの入所ニーズもあることから、中山の園グループ全体での調整を行い、体験利用、短期入所等積極的に受け入れる必要があります。

地域生活移行を目指す方の個々の障がいやライフステージに適した生活の場への移行に向け、関係機関と連携を図りながら希望の実現に向けた取り組みが求められています。

事業の重点項目

1 人権尊重と虐待防止の意識の徹底

人権侵害の防止・虐待防止につて職員の意識や知識等を高めていく必要があることから、人権侵害自己チェック、虐待防止チェックを実施し、虐待防止委員会では支援の適正や未然防止策、再発防止策等の検討を通じて職員の虐待防止に対する意識の徹底を図ります。

成年後見制度の利用について、本人や家族に情報提供を行い、関係機関と連携し取り組みを進めます。

2 安心・安全なサービスの提供

障害が多様化するなか、障がい即したサービス提供が必要なため、利用者個々の状況に応じ丁寧なアセスメントを行いニーズに沿ったサービスの提供に努めます。

リスクマネジメントでは要因分析と再発防止対策によって支援の統一を図り、事故や利用者間のトラブル等の未然防止に努めます。

精神障がいや発達障がいのある方の利用が増加傾向にあるため、職場内研修や外部研修等を通して専門知識や技術の習得に努めます。

感染症予防について、一層職員の意識向上に努める必要があることから、感染症対策マニュアルの定期的な見直しと対策の徹底を図ります。

3 セーフティネット機能の推進

在宅障がい者の方が地域生活を継続できるよう、関係機関と連携し短期入所や日中一時支援等のサービス提供等の受入れを行います。

また、地域生活の維持が難しくなった精神障がい者や発達障がいのある方の受け皿としてセーフティネット機能施設の役割を果たします。

4 地域福祉の推進

地域福祉のニーズを把握し、施設が提供しているサービスや特徴等の情報発信などにより精神障がいに係る理解の促進を図り、奉仕活動や行事に参加することにより地域住民との交流を図ります。

また、利用者の希望する生活に向け、地域の社会資源を学ぶ機会を設け地域生活移行を目指します。

5 働きがいのある職場づくり

「報告・連絡・相談」により日常的にコミュニケーションを図り、情報共有、共通理解を深め、積極的に意見交換できる環境づくりを目指します。

また、業務の効率化を図り、時間外労働の縮減、有給休暇の取得促進等、ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりに取り組みます。

6 経営の安定・強化と経営意識の醸成

相談支援事業所や関係機関等との連携を図り、地域のニーズに応じた短期入所利用、新規利用者の受け入れを行うことにより利用率向上を目指します。

職員の経営意識の醸成を図るため、学習会を開催し職員個々が収支状況の把握や経営状況を理解することにより、経費削減や見直しに積極的に関わるよう促します。